



熊本県議会議員

高島和男がゆく

平成31年2月号



たかが7秒 されど7秒

熊本地震以降、市内5つの区で唯一人口が増加しているのが南区です。とりわけ託麻中学校区内はあちこちで住宅の新築が現在も進行中です。

宅地開発による人口増加は当然ながら交通量の増大につながります。昨年相談を受けたのが旧浜線から御幸に曲がるT字型の交差点の渋滞解消です。特に朝の通勤、夕方の帰路の時間帯は御幸に右折する車が何台か続くと東病院方面に直進出来ずに渋滞が悪化します。



交差点は時差式で旧浜線の東バイパス方面からが赤になり、数秒後一里木方面からが赤になります。早速関係機関と連携をはかり検討の結果、交差点の改良や道路の拡幅は困難であることが分かりました。

そこで信号機の時差を7秒延ばすことにしました。

「え？ たった？」と思われるかもしれませんが、信号機は他の信号とも連動しており旧浜線全体の流れを考慮すると7秒延ばすのが限界でした。託麻中学校区にはその他渋滞箇所が存在しますが、今後も緩和、解消に向けて取り組みます。

新年会

1月は地域はじめお世話になっている企業、顧問を務める団体の新年会に数多くお招きいただきました。



地震以降明るい話題の少なかった熊本ですが、今年は転機の年になることでしょう。

まずは1月7日からスタートしたNHK大河ドラマ「いだてん」。玉名出身の金栗四さんの半生を描いた作品ですが、来年の東京オリンピック・パラリンピックはもとより、昨今の箱根駅伝人気にもさらに拍車がかかることは間違いありません。

また秋には女子世界ハンドボール大会、ラグビーW杯が相次いで開催されます。両競技ともに欧州を中心に人気のあるスポーツですが、海外から多くの外国人が観戦に来熊されます。大河ドラマ放映、大会開催を機に「熊本」が内外に発信されますので熊本の魅力を深掘りして持続力のある経済効果に繋げていく必要があります。さらに中心市街地に目を向けると現在工事が進む桜町再開発が9月には完了します。その他に3月には熊本駅舎が完成し周辺の開発も着々と進行し目覚ましい変化を遂げることになりました。

諸々のことを考えると、本年は今後の熊本を占うターニングポイントになる年になります。その熊本の発展に微力ではありますが私も負託を受けた上で引き続き尽力して参ります！と、そんなことを各新年会で話したのでした。

高島和男事務所
届けます！あなたの思いを県政に
高島和男サポーター募集中です！

〒862-0962 熊本市南区田迎 2-17-7
TEL.096-288-6004
FAX.096-288-6009

ホームページでは写真付日記を毎日更新！
<http://takashima-kazuo.com>

Facebookもやっています！

